



▲8月23日に開催した水防避難訓練（①新型コロナウイルス感染症に対応した避難場所開設訓練での段ボール製ベッド・間仕切りの設置②浸水の恐れがある区域から区域外の安全な地域への広域避難訓練。市内で初めて実施③関原、日越両地区の住民など約180人が参加）



台風シーズンに向けて 家庭で災害への備えを

信濃川が観測史上最高の水位に達し、市内に大きな被害をもたらした昨年10月の台風19号。今年も、台風季節がやって来ます。市の「洪水ハ

ザードマップ」※で避難行動をもう一度確認してください。また、市は高齢者向けに、避難情報などを固定電話に配信します。ぜひ活用してください（左枠）。

この他、非常用持ち出し品を確認するなど、自分や家族の命を守るための準備を進めましょう。

浸水の恐れがある区域内に立地する介護施設の災害対策を支援します。入所、居住系の80施設に、リフト、ストレッチャーなどの避難用具や災害備蓄品の購入費、避難確保計画の策定や研修会開催のための経費を補助します。

介護施設へ避難用具などを支援

事前に登録を 固定電話に 避難情報が届きます

避難勧告などの「避難情報」や「信濃川早期警戒情報」を固定電話に配信します。受話器を取るとメッセージが流れます。
対象＝次の全てに該当する世帯
①携帯電話やスマートフォンを持っていない65歳以上の高齢者がいる
②防災行政無線の戸別受信機または緊急告知FMラジオが貸与されていない
登録方法＝アオーレ長岡総合窓口、各支所地域振興課にある申込書で（随時受け付け）



市町村による原子力安全対策研究会
感染症対応を含めた
原子力安全対策を要望

市町村による原子力安全対策研究会 感染症対応を含めた 原子力安全対策を要望

県内全30市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会」は、実務担当者の研修会を8月21日に開催しました。

中之島



次世代につなぐために
動くのは自分たち

中之島地域
ふるさと創生基金事業
実行委員会委員長
関口 和幸さん

若者がつながる交流の場づくりを進めようと、昨年度からワークショップ形式の「なかのしま若者会議」で話し合いを重ね、今年から本格的に活動が始まりました。



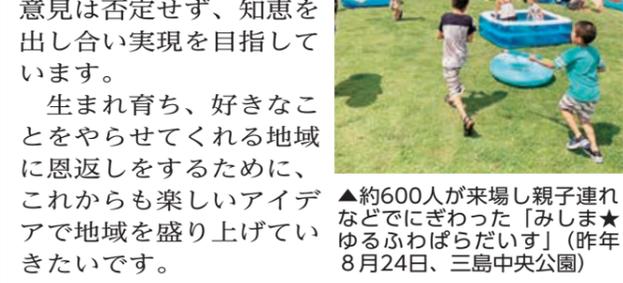
▲なかのしま若者会議（8月19日）

三島



楽しいアイデアで
地域に恩返しを

ともぶらす
（写真左から）大島 健さん
山崎 超さん
本間 由衣さん



▲約600人が来場し親子連れなどでにぎわった「みしま★ゆるふわばらだす」(昨年8月24日、三島中央公園)



「与板町ほたるを守る会」が環境大臣表彰を受賞

与板町ほたるを守る会が地域環境美化功労者・環境大臣表彰を受賞しました。与板地域を流れる千体川の清掃活動を続けてホタルの生息環境を守るとともに、ホタルを通じて実施した地域内外の交流などが評価されました。